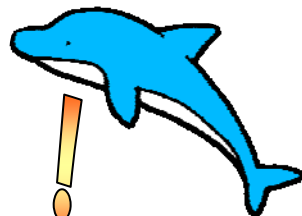


ムインライフ

[Vol. 98]

子どもたちも大喜び！

柿浦漁港内にイルカ現る！！



平成22年5月28日（金）午後2時30分頃、柿浦漁港内にイルカが出現しました！釣り船といっしょに入ってきたこのイルカは、その後、漁港内を回遊し、午後5時20分頃、港から出ていく漁船について漁港から去っていきました。

この日、地域の方（沖元大洋さん）から「柿浦漁港内にイルカがいる。大勢の人たちが見ている。環境館の方も来て、ビデオ撮影するといいいのでは」と、電話連絡を受けました。すぐに柿浦漁港に向かうと、すでにたくさんの人ばかり。イルカを見つけた子どもたちは、「ここだあ、ここにおった、おったあ、イルカだあー！！！」と、足元近くを泳ぐイルカを見つけて大きな歓声を上げていました。集まった地域の方々といっしょに、漁港内を回遊するイルカを見守りながら、写真やビデオ撮影を行いました。（この様子は、テレビ放映されました。）

詳しい状況について、イルカとともに港に入ってきた釣り船の船長さん（金川勝彦さん）に聞きました。

金川さん（談）

- 漁港の外で、釣り船に乗っていた釣り客が船の近くでイルカが跳ぶ瞬間を見ていた。
- その後、イルカは釣り船の近くに泳いできて、船といっしょに漁港に入ってきた。
- 漁港に入ってから、港内の端や中央付近といろいろな場所を泳いでいた。
- 昔はこの近くにもスナメリはいたが、イルカを見ることはほとんどなく、ましてや漁港の中に入ったなんて聞いたことがない。



【 港に現れたイルカ 】



また、しものせき水族館（海響館）の方に尋ねると、「イルカの種類は、マイルカかハセイルカだろう。日本近海にいるイルカだが、瀬戸内海には生息していない。偶然入ってきたものだろう。（偶来種）」とのことでした。偶然とはいえ、この日、イルカが来てくれた柿浦港は「出前水族館」のようでした。

連絡をいただいた沖元さん、状況を教えていただいた金川さん、ありがとうございました。

「里海学習推進事業」始まる！

●里海学習推進事業とは・・・

この事業は、本年度新規事業として、江田島市において予算化され実施されるもので、身近なふるさとの自然である「里海」を教育資源とした観察・調査・研究を中心に、小中学校、大学等専門機関、漁業協同組合や地域社会と連携しながら、江田島市ならではの特色ある環境教育を推進していこうというものです。また、「江田島（ふるさと）のよさを実感し、探究し、感動するなどの学習を通して、確かな学力を育てる」ことを目的に、本年度は、三高小学校と切串小学校の2校が「研究指定校」として、すでに取り組みを始めています。

三高小学校 「海辺の生き物大発見」～岸根海岸は、生き物の宝庫！～

◆5月27日（木）、三高小学校1・2年生、4・5年生特別支援学級の計31人が、岸根海岸の生き物たちにふれあうことができました！また、翌日には、海岸で採取した「巻き貝（スガイなど）」の塩ゆでや、「カメノテ」の味噌汁をつくり、里海の生き物「海の幸」をおいしくいただきました！
以下は、初めて見る生き物たちに出会ったときの児童たちの感想です。

- ◎ぼくがてかいアメフラシを見つけてバケツに入れました。そしたら軍手がムラサキになりました。海辺の探検はおもしろかったです。そのムラサキの汁は毒じゃないそうです。ブドウジュースみたいでした。
- ◎わたしは、今日カメノテとツブ（スガイ）を食べました。カメノテはプリプリしていておいしかったです。わたしは、初めてカメノテが食べられると知りました。カメノテは、食べる順番があります。まず、カメノテの皮をむいて、カメノテの食べられるところだけを食べて食べます。だから、またがぞくてカメノテを食べるとき、むき方を教えてあげようと思いました。



※海辺の生き物大発見の学習が楽しかったようですね。さらに、家庭料理にまで発展していますね。家族のみなさんともいっしょに豊かな自然とふれあい、「海の幸」も楽しみましょう！

切串小学校 「海辺の生きものとふれあおう」～長谷川河口で、アサリなどを調べる！～

◆6月11日（金）、切串小学校1～6年生計74人が、6年生を班長とした縦割り班で行動しながら、アサリ調査と生き物さがしを行いました。リーダーの6年生たちは、班のみんなに大きな声をかけながら、生き物たちを見つけていました。この場所は、個人でアサリをとってはいけませんが、漁協や地域の方の協力で、アサリの調査をさせていただくことができました。

以下は、アサリを見つけた場所の特徴について発表した児童たちの声です。

- ◎アサリは、海にもいたけど、なぜか海と川が交わっている所にたくさんいました。アサリは、海の生き物なのに、川の近くにいるのが不思議だと思ったので、今度調べてみたいです。
- ◎ぼくは、おじいちゃんに「地面をふんで水が出てきたらアサリがいる」と教えてもらいました。アサリは、ちょっと深い場所でたくさん発見しました。自由研究では、アサリの仕組みを調べたいです。



※学習のふり返りの中で、生き物たちの特徴やすんでいる場所のようすを分かりやすいことばで発表するところに、日頃の学習の成果があらわれていました！

やってみよう 見てみよう

科学研究のすすめ ～その2～ の巻

『ものをよく見ることから科学ははじまる』。『科学研究』も、目の前にある自然をじっくり観察することからはじまります。ただし、観察するときにはポイントがあります。それは「くらべる（比較する）」ということです。今回は観察や実験を行う際のポイント「くらべる」を紹介しましょう！

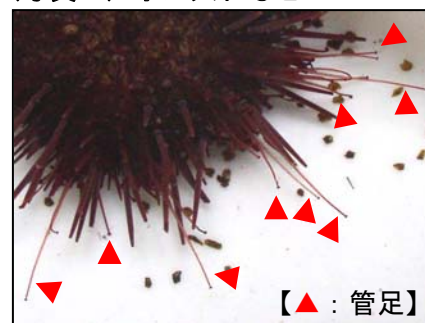
<②くらべてみよう！！>

『科学』は、まさに『比較の学問』です。違いや変化に注目しながらじっくり観察することで、研究はスタートします。「トゲがある？ない？」、「オスとメスでは何が違う？」、「重さが変わる？変わらない？」、「色が変わる？変わらない？」など、生き物の姿形や実験の前後で起こる変化に注目し、くらべながら観察することで、みえてくる「とくちょう」があります。例えば、サザエの殻にはトゲがあるものと無いものが見られますが（写真1）、これは育った場所の環境を物語っています（流れのはやい場所で育ったサザエにはトゲがあり、流れの穏やかな場所で育ったサザエにはトゲがありません）。形の違いに注目することでみえてくる「ひみつ」があるのです。また、「水の外」ではあまり動かないウニも、「水の中」に入れると、すぐに管足というやわらかいチューブ状の足を出し、とたんに動き出します（写真2）。これも、「水の外」と「水の中」での姿を比べることでみえてくる「ひみつ」の1つです。

（写真1）トゲあり？トゲなし？



（写真2）水に入れると・・・



ここに注目



- 1、形をくらべてみよう！どこが同じで、どこが違う？
- 2、実験の前後で、何が変わって、何が変わらなかった？どんなふうに変化した？

【さらに・・・こだわる】

○自然（生き物）を研究するポイント○

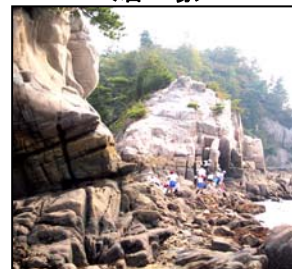


- ①場所（地形）にこだわる
- ②種・特徴にこだわる
- ③地域性にこだわる
- ④変化にこだわる

◆ 他にもあるよ！！ Let's Try! ◆

自然、とくに生き物について研究する場合、こだわって欲しいポイントが4つあります（右上）。例えば、「①場所（地形）にこだわる」。海辺の生き物たちの種類（分布）は、岩場では縦方向に（垂直分布）、干潟のような場所では横方向に（水平分布）変わります。これは冠水時間や塩分濃度などに対する生き物たちの特性を反映しています。調査する場所の特徴を知っておくと、生き物を探するときにも役立つのです！

<岩 場>



垂直分布



夏の海へ Let's go !

海に出かけるには良い季節になってきました。今回は、5年ぶりとなる岩根での観察会です。

春の海では、アメフラシやナマコ、ウニなどがたくさん見つかりました。夏の海には、いったいどんな生き物がいるのでしょうか？

まだ観察会に参加したことがない方も、ぜひ一緒に夏の海にでかけましょう！

日 時：平成22年7月10日（土）

13:30～15:30（干潮時刻 14:28 +36cm）

集合時間：13:30

集合場所：がんねムーンビーチ前の駐車場

観察場所：沖美町美能岩根の海岸

申し込み：7月9日（金）までに、環境館事務局へ



☆持ってくるもの☆
帽子、長靴、軍手、
スコップ、バケツ、
タオル、水筒 など

潮見表 7月の観察に適した日時（干潮時刻と潮位）

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
時分	6:29	7:04	7:42	8:24	9:17	10:22	11:34	0:26	1:33	2:27	3:14	3:58	4:41	5:23	6:04	
cm	120	119	119	120	120	115	102	182	171	157	141	126	111	98	88	
時分	18:28	19:02	19:40	20:25	21:26	22:55		12:38	13:36	14:28	15:18	16:05	16:49	17:33	18:16	
cm	68	89	113	140	166	182		82	59	36	15	1	-3	4	24	
7月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
時分	6:47	7:31	8:18	9:14	10:26	11:48	0:55	2:00	2:47	3:24	3:58	4:29	4:59	5:29	5:58	6:29
cm	81	80	84	92	97	95	192	177	160	145	133	122	113	106	100	97
時分	18:58	19:42	20:32	21:38	23:18		13:00	13:58	14:45	15:25	16:01	16:33	17:03	17:33	18:02	18:33
cm	54	93	135	173	194		84	70	57	48	43	43	48	58	73	93

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

広島県の暦象と潮位（日本気象協会中国センター）から

潮位30cm未満（網掛けになっている日）が調査に適しています。

事務局だより

- 広島県知事が来訪・・・5月25日（火）、広島県知事の湯崎英彦さんと広島県職員の方々が、県・市町懇談会で江田島市を訪れた際に、環境館にも来訪されました。館内を見学しながら、生きたカブトガニに触れるなど、島の自然にも興味をもたれていました。また、館内に掲示している海辺のイラストカレンダーを見て、子どもたちが描いた絵の完成度にとっても驚かれていました。



- 投稿・情報大募集・・・みなさんからの投稿をお待ちしております。次号 Vol. 99（7月15日号）の原稿締切は、7月12日（月）です。

江田島市教育委員会 生涯学習課

大柿自然環境体験学習交流館（環境館）

環境館長：西原 直久
指導主事：八川 慎一
専門員：清家 暁
"：山本真悠子
支援員：木村さつき
"：浜村 正純



（友の会会員 シニア 139名 ジュニア 68名）

事務局 調査会・研修会の申込み、環境館利用に関する問い合わせ先です。

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

大柿自然環境体験学習交流館

TEL (0823) 57-2613

FAX (0823) 40-3100

Eメール kankyokan_mail@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.urban.ne.jp/home

/fukaesho/kankyokan/

◆あとがき◆最近、クサフグが群れで泳いでいるのをよく見かけます。先日、家の近くの海岸で数百匹ものクサフグが泳いでいるのを発見しました。産卵場所を探しているようだったので、そろそろどこかで産卵しているかもしれませんね。（山本）